



野田市立川間小学校

学校教育目標

～豊かな人間性と確かな力を持ち、未来に向かって歩むことができる子ども～

～「豊かな心 確かな学力 健康な身体」を育む～

安心安全な学校

- ・教職員も児童も笑顔。
- ・夢や希望を持つ。
- ・防災教育
「いざは普段なり」
- ・仲間づくり
「Meet」での学習や学級活動
- ・友だちに「さん」をつけて呼ぶ。

体験活動の充実

- ・むつみグループ活動や委員会活動
- ・思いやり
- ・自治力
- ・規範意識の育成
- ・清掃活動
- ・奉仕 勤労の喜び

あいさつと返事

- ・どこでも
- ・誰にでも
- ・自分から・心をこめて
- ・校内で名札をつける

生活

- 思いやりがあり助け合う子
(あいさつの達人)
- ねばり強くやりとげる子
(掃除の達人)
- 元気に運動する子
(遊びの達人)

早寝・早起き・朝ごはん

- ・進んでつくる健康
- ・食育
- ・おいしく食べる給食

時間を守る

- ・児童：時間を見て行動
- ・職員：時間を見て行動
計画的に仕事を進める。

よく遊ぶ川間っ子

- ・業間昼休みの外遊び
- ・水曜日のロング昼休みの活用
- ・児童と共に職員も外に出て体を動かす。
- ・体育の充実

読書の習慣化

- ・読解力の向上
- ・図書館の利用
目標
年間39冊以上

家庭学習

- ・毎日、進んで学ぶ。
- ・学年×10+10分
- ・ノートは1冊終わったら校長室へ

学習用具

- ＜筆箱の中＞
- ・鉛筆 ・赤青鉛筆
- ・定規
- ・消しゴム
- ・ネームペン

学習

- 進んで学習する子
(学びの達人)

＜研修＞

- 人権教育の充実
- 朝学習（川間タイムを活用し基礎学力の向上を図る）⇒算数科
- 川間スタイルを軸とした算数科の充実

川間スタイル

話の聴き方

- ・発表する人の方を向いて聞く。
- ・最後まで、黙って聞く。
- ・「同じです。」「ほかにあります。」などを声に出して言う。

川間スタイル

学びの土台

- ・背中をピン、両足をペタン、お腹と机はグー、一つ分。
- ・机の上に置くもの
クロームブック、教科書、ノート、筆箱の位置。
- ・下敷きを使う。
- ・学習問題とまとめ、振り返りを書く。

川間スタイル

発表の仕方と

学習の工夫

- ・指名されたら「はい。」
- ・「です。」「ます。」をつける。
- ・県教委の示す「実践モデルプログラム」に沿った授業改善。
- ・ICTを活用した授業づくり。

充実した個への指導

- ・複数での算数指導
担任、ALT、JETとの外国語科、外国語活動
- ・サポートティーチャーの活用

土曜授業

- ・基礎基本の徹底
- ・習熟度別
- ・地域や保護者の方に見ていただき賞賛される機会

＜道具袋＞

- ・のり
- ・はさみ
- ・セロテープ

学校・家庭・地域の連携

- ・ホームページによる積極的な情報発信
- ・学校評価アンケート

学校行事

- ・存在感
- ・所属感
- ・自己肯定感
- ・地域の一員として、地域の行事への参加。

特別の教科 道徳

- ・考え、議論する道徳
- ・千葉県道徳指導資料の活用
- ・全教育活動での道徳科の授業充実

その他

緑いっぱい

友達いっぱい

夢いっぱい

（信頼関係）

報告・連絡・相談

- ・毎月の生活アンケート
- ・児童と面談
- ・年2回いじめアンケートの実施
- ・保護者との個人面談

動植物との共生

- ＜自然体験学習＞
- 1年 サツマイモ
- 2年 虫取り体験
- 3年 大豆
- 4年 味噌づくり
- 5年 米作り
- 6年 日光・戦場ヶ原ハイキング

虐待

- ①虐待の早期発見に努めること（努力義務）
【児童虐待防止法第5条第1項】
- ②虐待を受けたと思われる子供について、市町村（虐待対応担当課）や児童相談所等へ通告すること（義務）
【児童虐待防止法第6条】